SONY

2-897-437-**01** (1)

バッテリービデオライト
Battery Video Light
Lampe vidéo à batterie
电池摄像灯

取扱説明書
Operating Instructions
Mode d'emploi
Manual de instrucciones
使用说明书

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

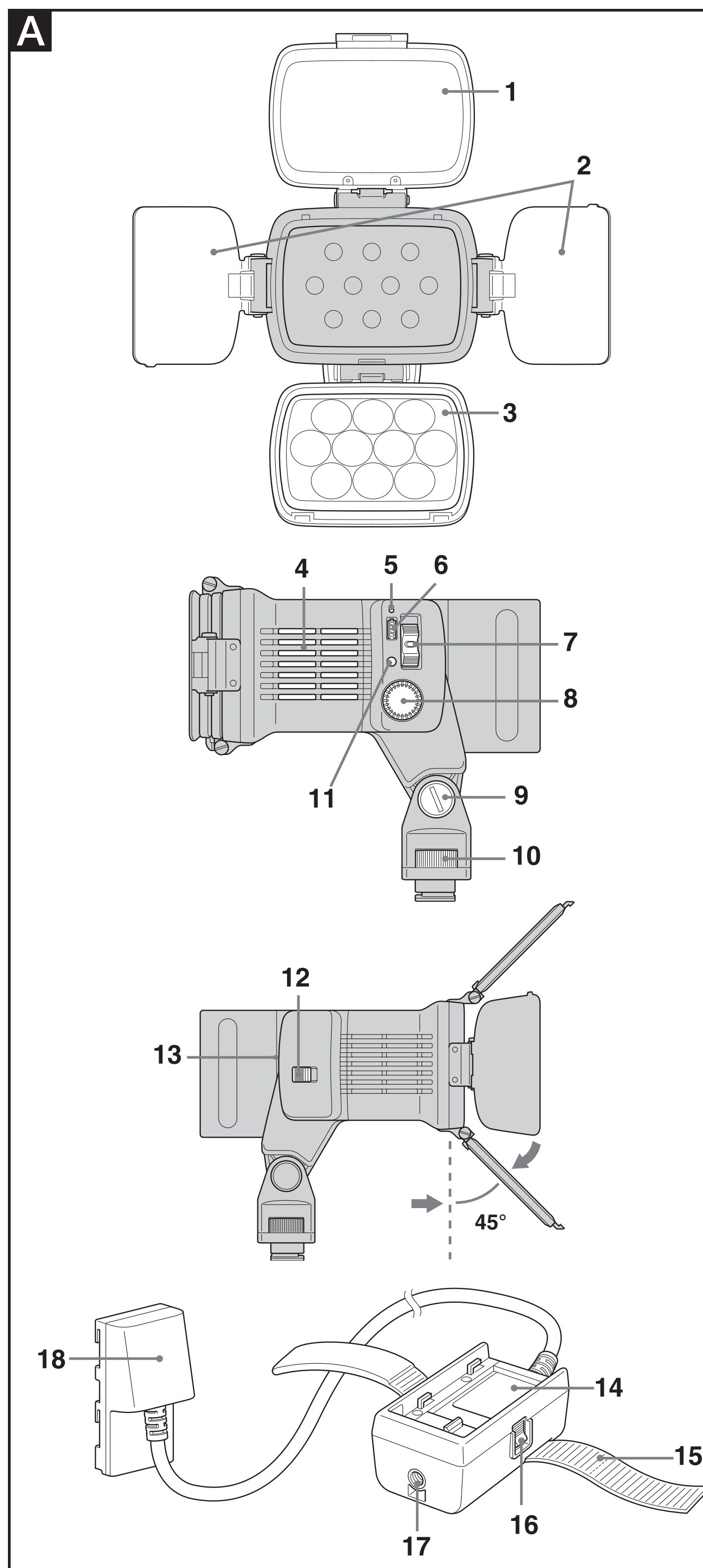
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

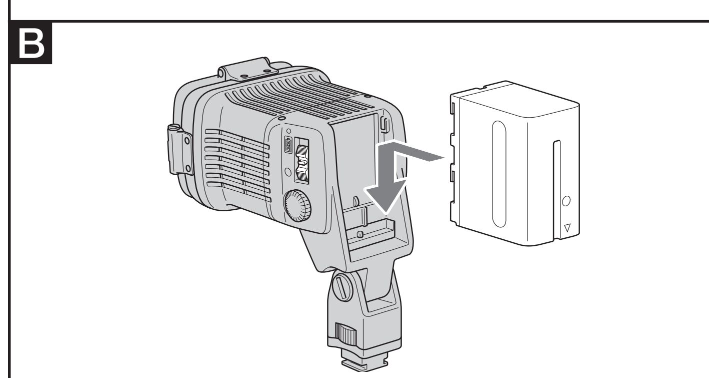
HVL-LBP

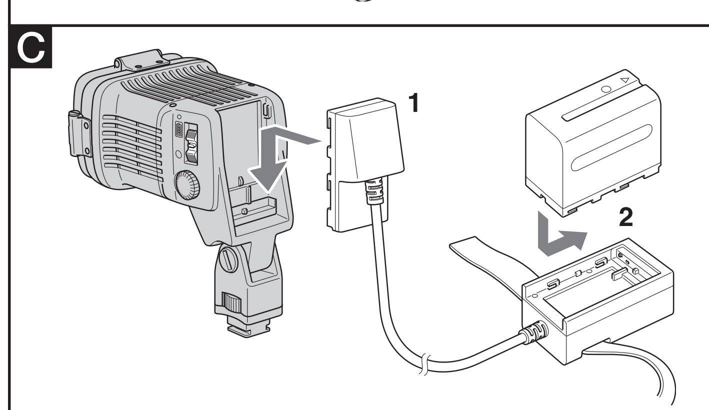
InfoLITHIUM™ L SERIES

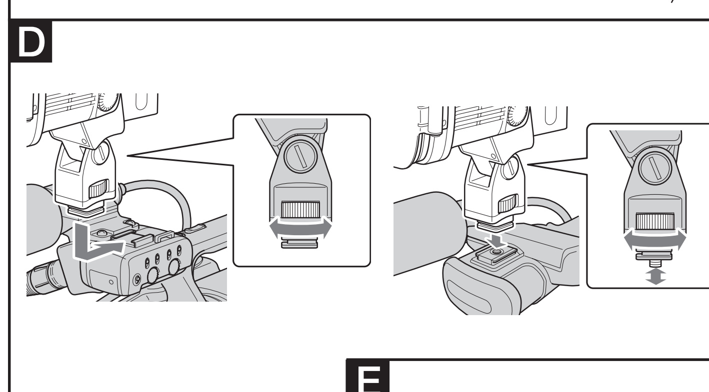
http://www.sony.net/

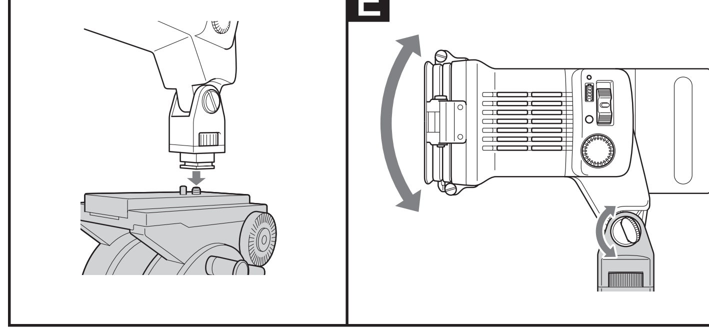
この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。
Printed on 70% or more recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.











日本語

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、ご購入いただいた特約店、またはソニー業務用商品に関するお問い合わせ窓口に修理を依頼する**
- **万一、異常が起きたら**

変な音やにおい、煙が出た場合は → ❶ 電源を切る ❷ **ご購入いただいた特約店、またはソニー業務用商品に関するお問い合わせ窓口**に修理を依頼する

警告表示の意味
取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号：火災　感電
行為を禁止する記号：禁止　接触禁止　分解禁止

⚠警告 火災 感電 **下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。**

点灯したまま放置しない
火災の原因となります。使用しないときは必ずPOWERスイッチを「OFF」にしてください。 禁止

バッテリーを取り付けたままケースなどに収納しない
万一誤ってスイッチが「ON」になると、発煙、発火の原因となることがあります。 禁止

放熱孔付近をさわらない
放熱孔およびその周辺は非常に高温になるのでやけどの恐れがあります。充分に冷えてから収納してください。 接触禁止

放熱孔をふさがない
内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。 禁止

放熱孔から内部に金属の棒などを差し込まない
そのまま使用すると、火災や事故、故障の原因となります。 禁止

紙や布などの燃えやすいものを近付けない
火災の原因となります。 禁止

集光レンズに太陽光等を当てたまま放置しない
焦点距離で発煙発火のおそれがあり、火災の原因となります。 禁止

集光レンズを通して直接太陽を覗かない
目をいためたり、失明の原因となることがあります。 禁止

湿気やほこりの多い場所では使わない
感電や火災の原因となることがあります。 禁止

アルコールやベンジンなど揮発性、引火性の高い薬品を近付けたりライトの近くに置いたりしない
発火、発煙の恐れがあります。 禁止

分解や改造をしない
火災や感電の原因となります。
内部の点検などはご購入いただいた特約店、またはソニー業務用商品に関するお問い合わせ窓口にご相談ください。 分解禁止

内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさない
そのまま使用すると、火災や事故、故障の原因となります。 禁止

⚠注意 **下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

点灯中はランプを直接見ない
強力な光は目を痛める恐れがあります。 禁止

⚠危険 **バッテリーについての安全上のご注意**
漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険
- 火の中に入れないでください。ショートさせたり、分解、加熱しないでください。

⚠警告
- 指定された種類のバッテリーを使用してください。
- バッテリー交換の場合は電源を切り、数分待ってから取り出してください。バッテリーによっては、発熱する場合があります。取り出す際はご注意ください。
- 金属に触れ、⊕、⊖がショートすると発熱、発火する危険があります。

⚠注意
- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- バッテリーを使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 本機のバッテリー取り付け部は時々乾いた布などで汚れを拭き取ってください。電極やバッテリー端子部に皮脂などの汚れがあると、動作時間が極端に短くなることがあります。

もしバッテリーの液が漏れたときは、本機のバッテリー取り付け部内の漏れた液をよくふきとってから、新しいバッテリーを入れてください。万一、液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

お願い　Li-ion　**リチウムイオン電池**　リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁物を貼って電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
有限責任中間法人JBRCホームページhttp://www.jbrc.net/hp/contents/index.htmlを参照してください。

主な特長

- 本機は、レンズ光源に高輝度白色LEDを使用したビデオライトです。
- 白色LEDは約10000時間と寿命が長く、耐衝撃性や耐候性が優れているため、メンテナンスの必要がほとんどありません。交換の必要がなく半永久的に使用できます。
- バッテリーアダプターコードを使用することにより、本機をビデオカメラに取り付けた際、ビデオカメラの重さや腕への負担も軽減されます。

取り扱い上のご注意

- 本機は、防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- 本機は精密機械です。落としたり、たたいたり、強い衝撃をあたえないでください。
- バッテリーはソニー製"インフォリチウム"バッテリーNP-F970/F960/F770/F750/F730をご使用ください。NP-F970/F770を推奨します。
- ソニー製"インフォリチウム"バッテリーNP-F570/F550/F530/F330は使用できません。
- 本機をインテリジェントアクセサリーシュー搭載のビデオカメラに取り付けないでください。アクセサリーシューが破損することがあります。
- 本機は0℃～40℃内の環境で使用してください。
- 放熱孔をふさがないでください。内部の温度が上がり、火災や事故、故障の原因となります。
- 点灯中は白色LEDを直接見ないようにしてください。目を傷めるおそれがあります。
- 落下防止のため、ビデオカメラに取り付けたまま本機を持って持ち運ばないでください。
- アルコールやベンジンなどの揮発性、引火性の高い薬品を近づけたり、本機の近くに置かないでください。発火・発煙のおそれがあります。
- 内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさないでください。そのまま使用すると、火災や火事、故障の原因となります。
- 使用中、保管中にかかわらず次のような場所には置かないでください。故障や変形の原因となります。
  – 炎天下や、夏場の窓を閉めきった自動車内のように異常に高温になる場所
  – 直射日光の近く、熱器具の近く
  – 激しい振動のある場所
- 寒いところや周囲が高温の場合、電池を使用できる時間が短くなるため連続照射時間が短くなります。電池の機能が低下するためです。より長い時間ご使用いただくために、寒いところ（10℃以下）で使用するときは次のことをおすすめします。
  – 電池をポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前にビデオライトに取り付ける。カイロをお使いになる場合は、直接電池に触れないようにご注意ください。
  – 充電は室温（10℃～30℃）でおこなう。
- 使い終わったらPOWERスイッチを必ず「OFF」にしてください。
- 使用しないときや使い終わったときは、必ずバッテリーを取りはずしてください。
- 使用後すぐにかばんなどに本機を収納しないでください。発熱で白色LEDが破損することがあります。電源が「OFF」になっていること、本機が充分に冷えていることを確認してからかばんなどに収納してください。
- 集光レンズに太陽光等を当てたままにしないでください。集光レンズを閉じたまま直射日光に当てると故障の原因となり、集光レンズを開いた状態で直射日光に当てると、レンズの焦点付近で発火のおそれがあります。
- 本機をビデオカメラ本体に装着した状態で撮影すると、記録される音声に若干の影響を与えることがあります。

A 各部のなまえ

HVL-LBP本体
1 ディフューザー
2 保護板
3 集光レンズ
4 放熱孔
5 TEMPランプ
6 バッテリー残量ランプ
7 POWERスイッチ
8 BRIGHTダイヤル
9 照射角度調節ネジ（コインネジ）
10 固定ツマミ
11 バッテリーチェックボタン
12 バッテリーリリースボタン
13 バッテリー取り付け部

バッテリーアダプターコード
14 バッテリー取り付け部
15 固定バンド
16 バッテリーリリースボタン
17 三脚ネジ穴
18 本体側アタッチメント

ビデオライトを使う

バッテリーを取り付ける

本機にバッテリーを取り付ける（イラストB）
POWERスイッチが「OFF」になっていることを確認し、充電したバッテリーを、バッテリー取り付け部に合わせて取り付ける

バッテリーアダプターコードを使う（イラストC）
バッテリーアダプターコードを使用することにより、バッテリーを本機から分離して取り付けることができます。

1 アダプター（イラストC-1）を本機のバッテリー取り付け部に装着する
2 アダプターのバッテリー取り付け部（イラストC-2）にバッテリーを装着する

ご注意
- バッテリーアダプターコードは、本機専用です。
- バッテリーアダプターコードにバッテリーを取り付けて使用すると、ビデオライトに直接取り付けたときより、連続照射時間が短くなります（約10%低下）。
- バッテリーアダプターコードのバッテリー取り付け部を固定バンド等で固定したまま移動等する時、コードが引っ張られカメラや三脚を倒さないようご注意ください。

ビデオカメラに取り付ける（イラストD）

アクセサリーシューに取り付ける
1 本機の固定ツマミをRELEASE側にゆるめてねじを引っ込める
2 本機をビデオカメラのアクセサリーシューに差し込む
3 固定ツマミをLOCKの方向に締め、本機を固定する
（本機をインテリジェントアクセサリーシュー搭載のビデオカメラに取り付けないでください。アクセサリーシューが破損することがあります。）

凹ねじへ取り付ける
1 本機の固定ツマミをLOCK側にまわし、ねじを少し出す
2 本機のねじ部を凹ねじへ合わせる
3 固定ツマミをLOCKの方向に締め、本機を固定する

三脚やグリップの凸ねじに取り付ける
1 本機の固定ツマミをRELEASE側に回らなくなるまでゆるめてねじを引っ込める
2 本機を凸ねじに挿入し本体をねじ込む

本体の角度を調整する（イラストE）

1 コインを使って照射角度調整ネジを緩め、本機の角度を調節する
2 コインを使って照射角度調整ネジを回し、十分締め付けて固定する

ご注意
角度を調整するときは、ビデオライト本体をしっかりと持って照射角度調節ネジをゆるめてください。

保護板、集光レンズ、ディフューザーを開く

ご注意
イラストAのように約45度の位置まで開いてください。45度以上は破損防止の緩衝領域です。45度以上無理な力で開くと破損するおそれがありますのでご注意ください。

本機を点灯させる

1 緑色のボタンを押しながらスイッチをスライドさせ、POWERスイッチを「ON」に合わせる
2 バッテリー残量ランプが順番に点灯し残量をチェックし計算します
3 「ON」にしてから約1.5秒後に白色LEDが点灯します
4 「ON」にしてから約8秒後に残量を表示します

照度を調整する

照度はBRIGHTダイヤルで、100%（MAX）～約10%（MIN）まで調節できます。

集光レンズを使用する

集光レンズを使用すると照度が約2倍に上がります。
照射角度は狭くなります。

ディフューザーを使用する

ディフューザーを使用するとまぶしさが低減され、光がやわらかくなります。

ご注意
- 本機を使って撮影する際、被写体とビデオカメラの距離が近すぎると、被写体の影が何重にも重なることがあります（マルチシャドー）。
- 色温度は、BRIGHTダイヤルの位置や、白色LEDの温度で若干変化するので、撮影前に必ずマニュアルでビデオカメラのホワイトバランスを調整してください。
- 本機を収納する際は、集光レンズ、ディフューザー、保護板の順に収納してください。

バッテリーの残量を確認する

POWERスイッチがOFFの状態でも、バッテリーの残量を確認することができます。

1 バッテリーを装着する
2 POWERスイッチはOFFの位置のままチェックボタンを押す
3 バッテリー残量ランプが順番に点灯し残量をチェックし計算します
4 約8秒後、残量を表示します
5 約10秒後バッテリー残量ランプは消灯します
残量計算中又は表示中にチェックボタンを押すと計算及び表示は終了します。
残量計算中又は表示中にPOWER スイッチをONにするとPOWER ONの動作に移ります。（再度チェックします。）

ランプ表示について

バッテリー残量ランプ
バッテリーのおおよその残量を表示します。POWERスイッチをON又はバッテリー残量チェックボタンを押してから約 8 秒後に残量表示が確定します。

（4灯）約75%以上
（3灯）約75%～50%
（2灯）約50%～25%
（1灯）約25%～5%
（点滅）約5%未満

- **電池の残量が残り少なくなったとき（点滅時）**
  電池がなくなる約5分前から、バッテリー残量ランプが緑色で遅い点滅をします（1灯）。バッテリーの使用頻度、使用環境温度によって表示開始時間は異なります。表示開始時間は目安ですので、早めのバッテリー交換をおすすめします。
- **電池の残量がなくなったとき**
  電池の残量がなくなると、ライトが消えてバッテリー表示ランプが緑色で約10秒間早い点滅をします（1灯）。POWER スイッチをOFFにしてバッテリーを充電する、もしくは充分充電されたバッテリーに交換してください。
- **通信エラー**
  （4灯点滅）バッテリー残量チェック終了後約10秒間

  何らかの原因で電池との通信中にエラーが生じたとき、またはソニー製"インフォリチウム"バッテリーLシリーズ以外の電池が挿入されたときに通信エラーとして約10秒間4つのLEDが点滅後、残量表示が消えます。

ご注意
- ソニー製"インフォリチウム"バッテリーLシリーズ（NP−F900番台、NP−F700番台）以外のバッテリーを本機に取り付けた場合はバッテリー残量は表示されません。
- 寿命の短くなったバッテリーを使用した場合、バッテリー残量表示が実際の残量と合わなくなることがあります。
- 本機で使用した"インフォリチウム"バッテリーを、"インフォリチウム"対応ACアダプター／チャージャーに取り付けたとき、使用可能時間は表示されません。使用可能時間を表示するにはお手持ちのビデオカメラにバッテリーを取り付け、20秒程度使用してから、ACアダプター／チャージャーに再度取り付けてください。
- 本機でバッテリー充電はできません。

TEMPランプ
白色LEDの温度が何らかの理由で熱くなりすぎたとき、安全のためライトが消灯し、TEMPランプが赤色で約60秒間早い点滅をします。使用環境温度が高い場合は環境温度の低い場所でお使いください。
それでも尚、TEMPランプが点滅する場合はただちにご使用をやめ、ご購入いただいた特約店、又はソニー業務用商品に関するお問い合わせ窓口にご相談ください。

ビデオライトをはずす

1 POWERスイッチを「OFF」にする
2 バッテリーリリースボタンをスライドさせた状態でバッテリーを上方向に引き上げる
3 本機の固定ツマミをRELEASE側にゆるめる
凸ネジに取り付けたときは、凸ネジ側をゆるめる。
4 本機をビデオカメラのアクセサリーシュー、または三脚などからはずす

ビデオライトのお手入れ

時々、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少しふくませた布で拭いてから、もう一度から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

主な仕様

電源	ソニー製"インフォリチウム"バッテリーLシリーズ（NP-F900番台、NP-F700番台） DC 7.2 V
消費電力	約16 W
最大光度	約600 lux（1 m）（集光レンズ使用時）
照射方向	照射角度 縦約45度 横約60度（集光レンズ未使用時）
連続照射時間	約3時間(NP-F970満充電、BRIGHTダイヤルMAX､周囲温度25 ℃）時 約2時間(NP-F770満充電、BRIGHT ダイヤルMAX､周囲温度25 ℃) 時
照射距離（集光レンズ使用時）	約1m 600 lux 約3m 66 lux 約5m 24 lux 約8m 9 lux 約10m 6 lux
色温度	約5500 K（BRIGHTダイヤルMAX､周囲温度25℃のときで、初期値）
使用温度	0 ℃～40 ℃
保存温度	-20 ℃～60 ℃
外形寸法	約108×150×129 mm(幅/高さ/奥行き)
質量（本体のみ）	約420 g
同梱物	バッテリービデオライト(1)、 バッテリーアダプターコード（コード部 約1.2 m）(1)、 印刷物一式

本機の使用および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
"インフォリチウム"はソニー株式会社の商標です。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ご購入いただいた特約店、またはソニー業務用商品に関するお問い合わせ窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではバッテリービデオライトの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ご購入いただいた特約店、またはソニー業務用商品に関するお問い合わせ窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- **品名：HVL-LBP**
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日**

【ソニー業務用商品に関するお問い合わせ窓口】
≪電話≫
ソニー業務用商品お客様ご相談センター
ナビダイヤル 0570-00-2288
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
携帯電話、PHSでのご利用は0466-31-2588
＜FAX＞ 0466-31-2595
受付時間 ＜月～金＞ 9:00～18:00（土・日・祝日及び年末年始は除く）
≪ホームページ≫
ソニードライブ http://www.sony.jp/

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

English

Before operating the unit, please read these instructions thoroughly, and retain them for future reference.

WARNING

To reduce fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.
To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.
Do not look at the sun through the condenser lens. It may damage your eyes and even cause blindness.

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)
This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local Civic Office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

For Customers in the U.S.A.

NOTE
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
– Reorient or relocate the receiving antenna.
– Increase the separation between the equipment and receiver.
– Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
– Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) this device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

CAUTION
You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

For Customers in Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

For Customers in Europe

This product with the CE marking complies with both the EMC Directive (89/336/EEC) issued by the Commission of the European Community.
Compliance with these directives implies conformity to the following European standards:
- EN55103-1 :Electromagnetic Interference (Emission)
- EN55103-2 :Electromagnetic Susceptibility (Immunity)

This product is intended for use in the following Electromagnetic Environment(s):
E1 (residential), E2 (commercial and light industrial), E3 (urban outdoors) and E4 (controlled EMC environment ex. TV studio).

Features

- The HVL-LBP is a video light that uses a high-brightness white LED as its lens light source.
- The white LED has a long lifetime of about 10,000 hours along with excellent impact-resistance and weather-resistance qualities, and so requires hardly any maintenance. It is built to last and does need to be replaced.
- By using the battery adaptor cord when the video light is attached to your camcorder, the weight of the camcorder is reduced and so is lighter to hold.

Precautions

- The video light does not have dust-proof, splash-proof or water-proof specifications.
- The video light is a precision instrument. Do not cause strong impacts to the video light such as by dropping it or striking it.
- Use the "InfoLITHIUM" battery pack NP-F970/F960/F770/F750/F730. The NP-F970/F770 is recommended.
- The "InfoLITHIUM" battery pack NP-F570/F550/F530/F330 cannot be used.
- Do not attach the video light to a camcorder equipped with an intelligent accessory shoe. The accessory shoe may be damaged.
- Only use the video light within an ambient temperature range of 0 °C (35 °F) to 40 °C (104 °F).
- Do not block the vents. Doing so will raise the internal temperature, and it may cause a fire or accident, or cause the unit to malfunction.
- Do not look directly at the white LED while it is on. It may damage your eyes.
- To prevent the camcorder from dropping, do not carry your camcorder by the video light when it is attached.
- Do not place the video light near combustible or volatile solvents, such as alcohol or benzine. Doing so may cause fire or smoke to be emitted.
- Do not allow any liquids into the video light or drop combustible objects or metal objects on the video light. Doing so may cause a fire or cause the unit to malfunction if used.
- During use or storage, do not place the video light in the following locations. Doing so may cause the video light to malfunction or deform:
  – Hot weather or abnormally hot locations such as inside a car with closed windows
  – Direct sunlight or near heating apparatus
  – Locations subject to intense vibrations
- The battery pack life is shorter when used at low or high ambient temperatures, so the lighting time is also reduced. The battery capacity deteriorates. When using the battery packs at the temperature of 10 °C (50 °F) or less, the following steps are recommended for longer battery life:
  – To warm the battery pack, put it in your pocket. (Do not put the battery pack together with a pocket heat pad.) Just before recording, insert the battery pack into the video light.
  – Charge the battery pack at room temperature (from 10 °C (50 °F) to 30 °C (86 °F)).
- When you have finished using the video light, be sure that the POWER switch on the video light is set to OFF.
- When not using the video light or when you have finished using it, remove the battery pack.
- Do not store away the video light immediately after using it. The white LED may be damaged by the generated heat. Check that the power of the video light is set to OFF and the video light has cooled sufficiently before storing it in your bag, etc.
- Leaving the condenser lens in direct sunlight while closed could cause a malfunction. Leaving the condenser lens in direct sunlight while open could cause fire near the focal point of the lens.
- Recording with the video light attached to the video camera body can slightly affect the recorded sound.

A Identifying the parts

HVL-LBP video light
1 Diffuser
2 Protection plate
3 Condenser lens
4 Vents
5 TEMP lamp
6 Remaining battery lamp
7 POWER switch
8 BRIGHT dial
9 Lighting angle adjusting screw (Coin screw)
10 Light attachment knob
11 Battery check button
12 Battery release button
13 Battery mount

Battery adaptor cord
14 Battery release button
15 Tripod screw hole
16 Holding band
17 Video light side attachement
18 Battery mount

Using the video light

Attaching the battery pack

Attaching the battery pack to the video light (Illustration B)
Check that the POWER switch is set to OFF and attach the fully charged battery pack to the battery mount on the video light.

Using the battery adaptor cord (Illustration C)
The battery adaptor cord allows you to use the video light with the battery pack detached.

1 **Attach the battery adaptor cord (Illustration C-1) to the battery mount on the video light.**
2 **Attach the battery pack to the battery mount on the adaptor (Illustration C-2).**

Notes
- The battery adaptor cord can only be used with this video light.
- When using the video light with the battery pack attached to the battery adaptor cord, the continuous lighting time will be about 10 % shorter than if the battery pack was attached directly to the video light.
- If the battery mount part of the battery adaptor cord is fixed with a holding band etc., be careful when moving the unit not to pull the cord and knock down the camcorder or tripod.

Attaching the video light to the camcorder (Illustration D)

Attaching the video light to the accessory shoe
1 **Turn the light attachment knob on the video light toward RELEASE in order to retract the screw.**
2 **Attach the video light to the accessory shoe on the camcorder.**
3 **Turn the light attachment knob on the video light toward LOCK to fasten the video light.**
(Do not attach the video light to a video camera that has an intelligent accessory shoe. The accessory shoe may be damaged.)

Attaching the video light to the concave screw
1 **Turn the light attachment knob on the video light toward LOCK to extend the screw.**
2 **Align the screw part of the video light with the concave screw.**
3 **Turn the light attachment knob on the video light toward LOCK to fasten the video light.**

Attaching the video light to the convex screw on the tripod or grip
1 **Turn the light attachment knob on the video light toward RELEASE as far as it will go, in order to retract the screw.**
2 **Insert the video light into the convex screw, and screw the video light.**

Adjusting the angle of the video light (Illustration E)

1 **Unfasten the lighting angle adjusting screw with a coin and adjust the angle of the video light.**
2 **Fasten the lighting angle adjusting screw with a coin and lock firmly to fix the angle of the video light.**

Note
When adjusting the angle, hold the video light body firmly while loosening the lighting angle adjusting screw.

Opening the protection plate, condenser lens and diffuser

Note
Open the protection plate, condenser lens and diffuser about 45 degrees as in Illustration A. The angle of 45 degrees or more provides a buffer range to prevent damage. Note that using force to open to 45 degrees may cause damage.

Turning the video light on

1 **Slide the POWER switch to ON while pressing down on the green button.**
2 **The remaining battery lamp lights up in steps as the remaining battery capacity is checked and calculated.**
3 **The white LED comes on about 1.5 seconds after the POWER switch is turned on.**
4 **The remaining battery capacity appears about 8 seconds after the POWER switch is turned on.**

Adjust the illuminance

The illuminance of the video light can be adjusted between 100% (max) and about 10% (min) using the BRIGHT dial.

Using the condenser lens

Illuminance can be doubled by using the condenser lens.
The angle of illuminance will become narrower.

Using the diffuser

The diffuser reduces glare and softens the light.

Notes
- When recording with the video light, if the subject is too close to the camcorder, several shadows of the subject may overlap (multi-shadow).
- The color temperature varies slightly depending on the position of the BRIGHT dial and the temperature of the white LED. Always adjust the white balance of the video camera manually before recording.
- When storing the video light, store the condenser lens first, followed by the diffuser and then the protection plate.

Checking the remaining battery capacity

The remaining battery capacity can be checked even if the POWER switch is set to OFF.

1 **Attach the battery pack to the video light.**
2 **With the POWER switch set to OFF, press the battery check button.**
3 **The remaining battery lamp lights up in steps as the remaining battery capacity is checked and calculated.**
4 **About 8 seconds after, the remaining battery capacity will be displayed.**
5 **After about 10 seconds, the remaining battery lamp will turn off.**
If you press the battery check button, the calculation or display function will be stopped.
If you turn on the POWER switch while the remaining battery capacity is being calculated or displayed, POWER ON operation begins. (Remaining battery capacity is rechecked.)

Lamp indicators

Remaining battery lamp
This indicator shows the approximate remaining battery power. The remaining battery power will be displayed about 8 seconds after setting the POWER switch to ON or after pressing the battery check button.

(4 segments lit)	About 75% or more
(3 segments lit)	About 50% - 75%
(2 segments lit)	About 25% - 50%
(1 segment lit)	About 5% - 25%
(1 segment flashing)	About 5% or less

- **When the battery capacity is low (when flashing)**
  About 5 minutes before the batteries run out, the remaining battery lamp turns green and begins to slowly flash (1 segment).
  The time before the batteries run out varies depending on the frequency of use of the batteries and the ambient temperature. This indicator should only be used as a rough guide, and it is recommended that the batteries be replaced promptly.
- **When the battery pack runs out**
  When the battery pack runs out, the video light goes out and the remaining battery lamp turns green and blinks rapidly for about 10 seconds (1 segment). Set the POWER switch to OFF and recharge the battery pack or replace it with a fully charged battery pack.
- **Communication error**
  (4 segments flash) For about 10 seconds after the remaining battery check is complete

  If an error occurs for some reason during communication with the battery pack or if batteries other than the Sony "InfoLITHIUM" battery pack L series are inserted, 4 segments flash for 10 seconds to indicate a communication error and then the remaining battery display disappears.

Notes
- When using batteries other than the Sony "InfoLITHIUM" battery pack L series (NP-F900 range, NP-F700 range) with the video light, the remaining battery capacity will not be displayed.
- When using a battery pack that only has a short lifetime remaining, the remaining battery display may not agree with the actual remaining battery capacity.
- When using a "InfoLITHIUM" battery pack attached to the "InfoLITHIUM" compatible AC adaptor/charger, the available operating time will not be displayed. To display the operating time, attach the battery pack to the camcorder and then use for about 20 seconds before attaching the battery pack to the AC adaptor/charger again.
- The battery pack cannot be recharged with the video light.

TEMP lamp
When the white LED overheats for some reason, the video light will be turned off for safety reasons, and the TEMP lamp turns red and blinks rapidly for about 60 seconds. If the ambient temperature is high, use the video light at a lower temperature.
If the TEMP lamp continues to blink, stop using the video light and consult your Sony dealer or local authorized Sony service facility.

Removing the video light

1 **Set the POWER switch to OFF.**
2 **Slide the battery release button and at the same time pull the battery pack upward.**
3 **Turn the light attachment knob on the video light toward RELEASE.**
If the video light is attached to a convex screw, loosen the convex screw.
4 **Remove the video light from the accessory shoe of the camcorder, tripod etc.**

Cleaning

Clean the video light with a soft dry cloth. If you clean it with a soft cloth lightly moistened with a mild detergent solution, wipe it with a soft dry cloth after cleaning. Do not use a damp cloth or any type of solvent, such as alcohol or benzine, which might damage the finish.

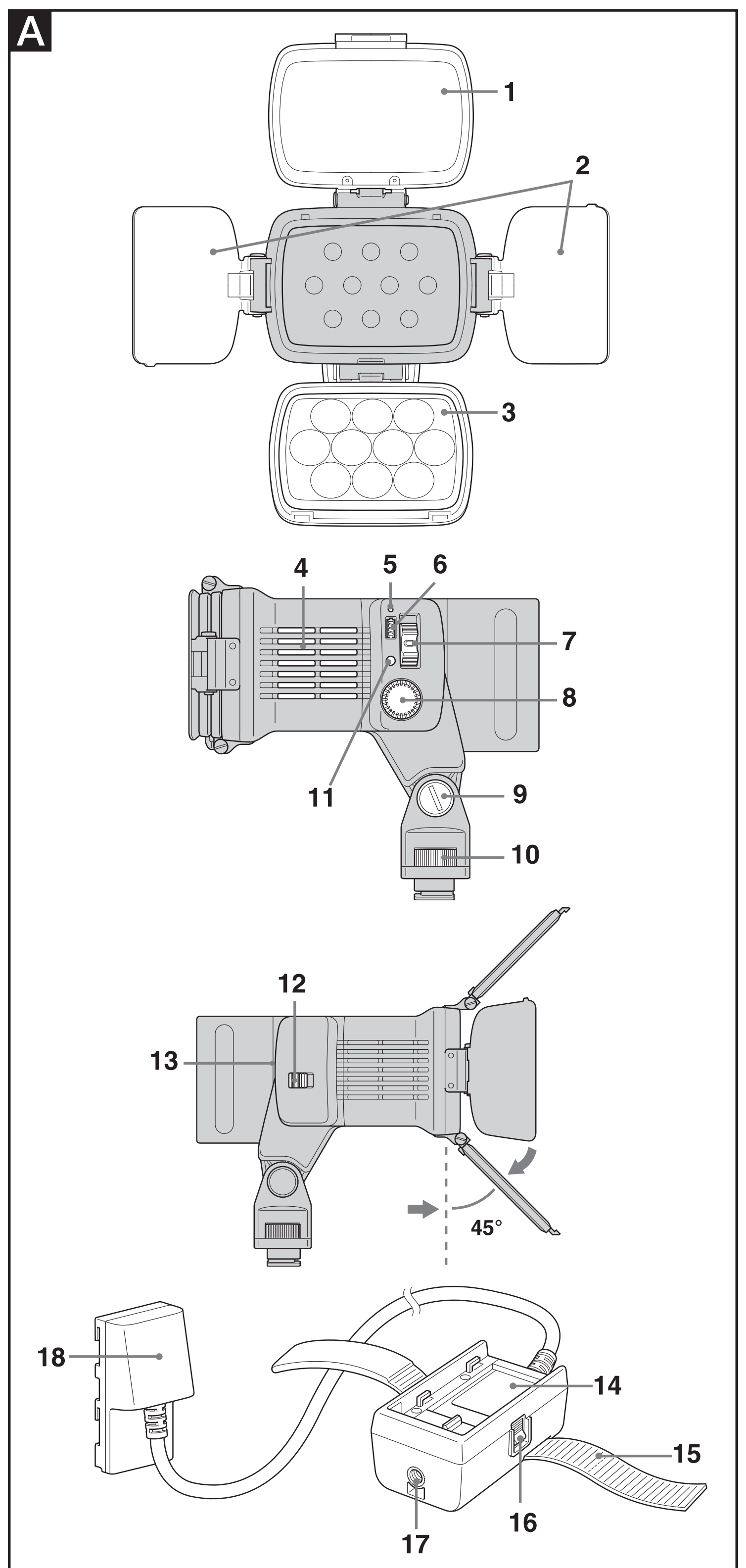
Specifications

Power source	Sony "InfoLITHIUM" battery pack L series (NP-F900 range, NP-F700 range) DC 7.2 V
Power consumption	Approx. 16 W
Maximum luminosity	Approx. 600 lux (1 m (3 1/5 ft.)) (when used with a condenser lens)
Lighting direction	Lighting angle Vertical Approx. 45 degrees Horizontal Approx. 60 degrees (when used with a condenser lens)
Continuous lighting time	Approx. 3 hours (when using a fully charged NP-F970 and when the BRIGHT dial is set to MAX at an ambient temperature of 25 °C (70 °F)) Approx. 2 hours (when using a fully charged NP-F770 and when the BRIGHT dial is set to MAX at an ambient temperature of 25 °C (70 °F))
Lighting distance (When using the condenser lens)	Approx. 1 m (3 1/5 ft.) 600 lux Approx. 3 m (9 4/5 ft.) 66 lux Approx. 5 m (16 1/2 ft.) 24 lux Approx. 8 m (26 1/3 ft.) 9 lux Approx. 10 m (32 4/5 ft.) 6 lux
Color temperature	Approx. 5,500 K (default setting with the BRIGHT dial set to MAX and an ambient temperature of 25 °C (70 °F))
Operating temperature	0 °C to 40 °C (35 °F to 104 °F)
Storing temperature	-20 °C to +60 °C (-4 °F to -140 °F)
Dimensions	Approx. 108 × 150 × 129 mm (w/h/d) (4 3/8 × 6 × 5 1/8 in.)
Mass (Video light only)	Approx. 420 g (14.9 oz.)
Included items	Battery video light (1), Battery adaptor cord (Cord part Approx. 1.2 m (3 4/5 ft.)) (1), Set of printed documentation

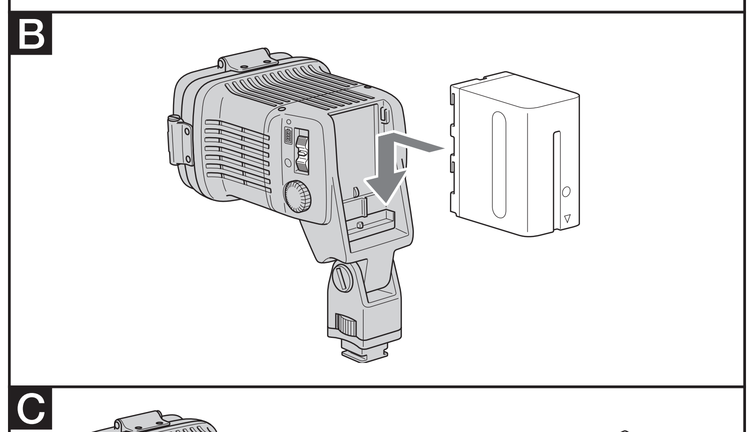
Design and specifications are subject to change without notice.

"InfoLITHIUM" is a trademark of Sony Corporation.

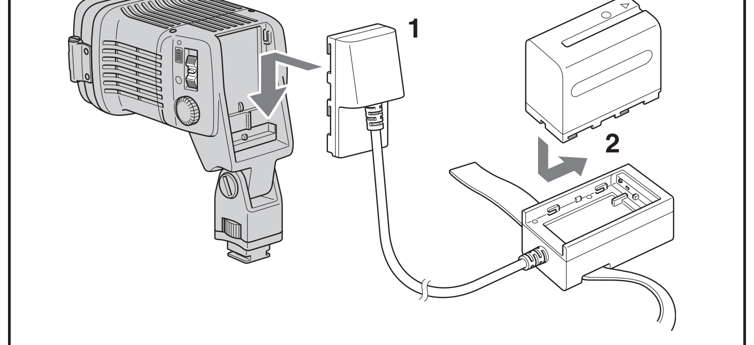
A



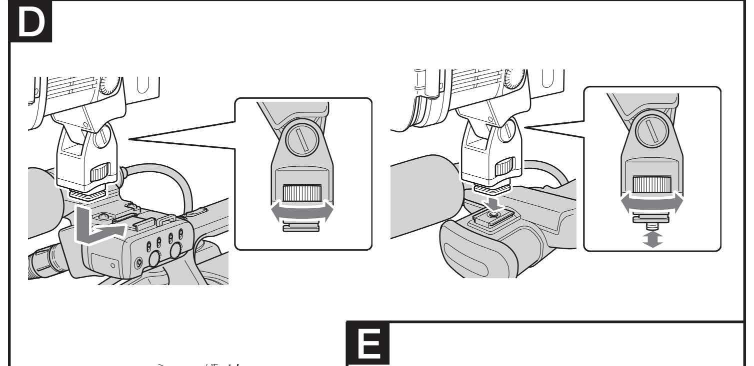
B



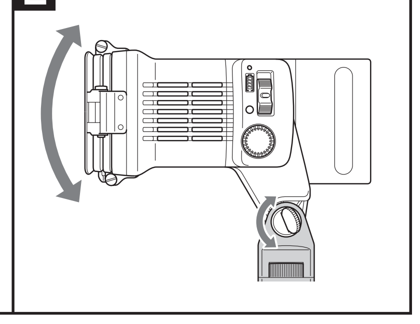
C



D



E



Français

Avant d'utiliser l'appareil, veuillez lire attentivement ce manuel et conservez-le pour toute référence ultérieure.

AVERTISSMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou de décharge électrique, n'exposez pas cet appareil à la pluie ou à l'humidité.
Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le boîtier fermé.
Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un technicien qualifié.
Ne regardez pas le soleil à travers la lentille condenseur. Ceci pourrait provoquer des lésions oculaires et entraîner une cécité.

Traitement des appareils électriques et électroniques en fin de vie (Applicable dans les pays de l'Union Européenne et aux autres pays européens disposant de systèmes de collecte sélective)
Ce symbole, apposé sur le produit ou sur son emballage, indique que ce produit ne doit pas être traité avec les déchets ménagers. Il doit être remis à un point de collecte approprié pour le recyclage des équipements électriques et électroniques. En s'assurant que ce produit est bien mis au rebut de manière appropriée, vous aiderez à prévenir les conséquences négatives potentielles pour l'environnement et la santé humaine. Le recyclage des matériaux aidera à préserver les ressources naturelles. Pour toute information supplémentaire au sujet du recyclage de ce produit, vous pouvez contacter votre municipalité, votre déchetterie ou le magasin où vous avez acheté le produit.

Pour les clients au Canada

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Pour les clients résidant en Europe

Ce produit portant la marque CE est conforme à la Directive sur la compatibilité électromagnétique (EMC) (89/336/CEE) émise par la Commission de la Communauté européenne.
La conformité à cette directive implique la conformité aux normes européennes suivantes :
- EN55103-1 : interférences électromagnétiques (émission)
- EN55103-2 : susceptibilité électromagnétique (immunité)

Ce produit est destiné à une utilisation dans les environnements électromagnétiques suivants : E1 (résidentiel), E2 (commercial et industrie légère), E3 (urbain extérieur) et E4 (environnement EMC contrôlé, par exemple un studio de télévision).

Caractéristiques

- HVL-LBP est une torche vidéo qui utilise une LED blanche à haute luminosité comme source lumineuse de l'objectif.
- La LED blanche a une durée de vie d'environ 10 000 heures ; extrêmement résistante aux chocs et aux conditions météorologiques, elle ne nécessite que très peu d'entretien. Conçue pour durer, elle n'a pas besoin d'être remplacée.
- L'utilisation du câble de l'adaptateur de la batterie lorsque la torche vidéo est fixée à votre caméscope rend votre caméscope plus léger.

Précautions

- Cette torche vidéo ne dispose pas de spécifications concernant l'étanchéité à la poussière, aux éclaboussures et à l'eau.
- Cette torche vidéo est un instrument de précision. Veillez à ne pas la soumettre à des chocs violents ou à la faire tomber.
- Utilisez les modèles de batterie « InfoLITHIUM » suivants : NP-F970/F960/F770/F750/F730. Il est recommandé d'utiliser le modèle NP-F970/F770.
- Vous ne pouvez pas utiliser les modèles de batterie « InfoLITHIUM » NP-F570/F550/F530/F330.
- Ne fixez pas la torche vidéo à un caméscope équipé d'une griffe porte-accessoires intelligente. Vous risqueriez d'endommager la griffe porte-accessoires.
- N'utilisez la torche vidéo que sous des températures comprises entre 0 °C (35 °F) et 40 °C (104 °F).
- N'obstruez pas les conduits de ventilation. La température interne risquerait de monter, ce qui pourrait provoquer un accident ou un incendie ou endommager l'appareil.
- Ne regardez pas directement la LED blanche lorsque celle-ci est activée. Des lésions oculaires pourraient se produire.
- Pour éviter que le caméscope ne tombe, ne le transportez pas par la torche vidéo lorsque celle-ci est fixée.
- Ne placez pas la torche vidéo à proximité de solvants combustibles ou volatils (alcool, benzène, etc.). De la fumée pourrait de produire et cela risquerait de provoquer un incendie.
- Veillez à ce qu'aucun liquide ou objet combustible ou métallique ne pénètre à l'intérieur la torche vidéo. Cela risquerait de provoquer un incendie ou d'endommager l'appareil.
- Évitez d'utiliser et de placer la torche vidéo dans les endroits suivants. Vous risqueriez d'endommager la torche vidéo ou de la déformer :
  – Endroits anormalement chauds, notamment à l'intérieur d'un véhicule fermé en plein été. De même, évitez d'utiliser la torche vidéo sous des températures extrêmes
  – Sous la lumière directe du soleil ou à proximité de sources de chaleur
  – Endroits soumis à de fortes vibrations
- La durée de vie de la batterie, ainsi que la durée d'éclairage, sont considérablement réduites lorsque vous utilisez cet appareil sous des températures extrêmes. La capacité de la batterie pourrait se détériorer. Lorsque vous utilisez la batterie à une température de 10 °C (50 °F) ou moins, nous vous recommandons de suivre les instructions suivantes afin de prolonger sa durée de vie :
  – Pour chauffer la batterie, placez-la dans votre poche. (Cependant, ne placez pas la batterie avec une poche chauffante.) Juste avant l'enregistrement, insérez la batterie dans la torche vidéo.
  – Chargez la batterie lorsque la température ambiante est comprise (entre 10 °C (50 °F) et 30 °C (86 °F)).
- Une fois que vous avez terminé d'utiliser la torche vidéo, assurez-vous que l'interrupteur POWER (Alimentation) de la torche vidéo est positionné sur OFF.
- Si vous n'utilisez pas la torche vidéo ou une fois l'enregistrement terminé, retirez la batterie.
- Ne rangez pas la torche vidéo immédiatement après l'avoir utilisée. La chaleur générée pourrait endommager la LED blanche. Vérifiez que la torche vidéo est hors tension (positionnée sur OFF) et qu'elle a refroidit avant de la ranger.
- Si vous laissez la lentille condenseur exposée à la lumière directe du soleil alors qu'elle est fermée, un dysfonctionnement pourrait se produire. Si vous laissez la lentille condenseur à la lumière directe du soleil alors qu'elle est ouverte, un incendie pourrait se produire au niveau du foyer de la lentille.
- Si vous enregistrez alors que la torche vidéo est fixée au caméscope, il est possible que le son enregistré soit légèrement déformé.

A Identification des éléments

Torche vidéo HVL-LBP
1 Diffuseur
2 Plaque de protection
3 Lentille condenseur
4 Orifices de ventilation
5 Témoin TEMP (Température)
6 Témoin de batterie restante
7 Interrupteur POWER (Alimentation)
8 Molette BRIGHT (Réglage de la luminosité)
9 Bouton de réglage de l'angle d'éclairage (Vis)
10 Molette de fixation de la torche
11 Bouton de vérification de la batterie
12 Bouton de déverrouillage de la batterie
13 Support de batterie

Câble de l'adaptateur de la batterie
14 Bouton de déverrouillage de la batterie
15 Trou de vis du trépied
16 Ceinture de maintien
17 Fixation latérale de la torche vidéo
18 Support de batterie

Utilisation de la torche vidéo

Fixation de la batterie

Fixation de la batterie à la torche vidéo (Illustration B)

Assurez-vous que l'interrupteur POWER (Alimentation) est positionné sur OFF, puis fixez la batterie chargée sur le support de batterie.

Utilisation du câble de l'adaptateur de la batterie (Illustration C)

Le câble de l'adaptateur de la batterie vous permet d'utiliser la torche vidéo sans avoir besoin de fixer la batterie.

1. **Fixez le câble de l'adaptateur de la batterie (Illustration C-1) au support de batterie situé sur la torche vidéo.**
2. **Fixez la batterie sur le support de batterie de l'adaptateur (Illustration C-2).**

Remarques
- Le câble de l'adaptateur de la batterie ne peut être utilisé qu'avec cette torche vidéo.
- Si vous utilisez la torche vidéo avec la batterie fixée au câble de l'adaptateur, la durée d'éclairage continu sera réduite d'environ 10 %.
- Si le support de batterie du câble de l'adaptateur est fixé à l'aide d'une ceinture de maintien, veillez à ne pas tirer sur le câble lorsque vous déplacez l'appareil, car le caméscope ou le trépied pourrait tomber.

Fixation de la torche vidéo au caméscope (Illustration D)

Fixation de la torche vidéo à la griffe porte-accessoires

1. **Placez la molette de fixation de la torche sur la position RELEASE (Déverrouillage) afin de pouvoir dévisser la vis.**
2. **Fixez la torche vidéo à la griffe porte-accessoires du caméscope.**
3. **Placez la molette de fixation de la torche sur la position LOCK (Verrouillage) pour verrouiller la torche vidéo.**
(Ne fixez pas la torche vidéo à un caméscope équipé d'une griffe porte-accessoires intelligente. Vous risqueriez d'endommager la griffe porte-accessoires.)

Fixation de la torche vidéo à la vis concave

1. **Placez la molette de fixation de la torche sur la position LOCK (Verrouillage) pour bloquer la vis.**
2. **Alignez la vis de la torche vidéo avec la vis concave.**
3. **Placez la molette de fixation de la torche sur la position LOCK (Verrouillage) pour verrouiller la torche vidéo.**

Fixation de la torche vidéo à la vis convexe du trépied ou de la poignée

1. **Placez la molette de fixation de la torche sur la position RELEASE (Déverrouillage) autant que possible afin de pouvoir dévisser la vis.**
2. **Insérez la torche vidéo dans la vis convexe, puis vissez-la.**

Réglage de l'angle de la torche vidéo (Illustration E)

1. **Dévissez la vis de réglage de l'angle d'éclairage à l'aide d'une pièce de monnaie, puis réglez l'angle de la torche vidéo.**
2. **Vissez la vis de réglage de l'angle d'éclairage à l'aide d'une pièce de monnaie, puis serrez afin de bloquer l'angle de la torche vidéo.**

Remarque
Lors du réglage de l'angle, tenez la torche vidéo fermement tout en dévissant légèrement la vis de réglage de l'angle d'éclairage.

Ouverture de la plaque de protection, de la lentille condenseur et du diffuseur

Remarque
Ouvrez la plaque de protection, la lentille condenseur et le diffuseur à environ 45 degrés (voir Illustration A). Un angle de 45 degrés ou plus sert de butée et permet d'éviter tout dommage. Ne forcez pas sur l'appareil pour l'ouvrir à 45 degrés, car vous risqueriez de l'endommager.

Mise sous tension de la torche vidéo

1. **Placez l'interrupteur POWER (Alimentation) sur la position ON tout en appuyant sur le bouton vert.**
2. **Le témoin de la batterie restante s'allume progressivement, ce qui signifie que la capacité restante de la batterie est vérifiée et calculée.**
3. **La LED blanche s'allume environ 1,5 seconde après avoir actionné l'interrupteur POWER.**
4. **La capacité restante de la batterie s'affiche environ 8 secondes après avoir actionné l'interrupteur POWER.**

Réglage de la luminosité

La luminosité de la torche vidéo peut être réglée entre 100% (maximum) et 10% (minimum) à l'aide de la molette BRIGHT (Réglage de la luminosité).

Utilisation de la lentille condenseur

La luminosité peut être doublée en utilisant la lentille condenseur.
L'angle d'éclairage devient plus étroit.

Utilisation du diffuseur

Le diffuseur permet de réduire l'effet d'éblouissement et adoucit la lumière.

Remarques
- Lorsque vous enregistrez avec la torche vidéo, si le sujet est trop près du caméscope, plusieurs ombres du sujet risquent de se superposer (multi-ombres).
- La température de couleur varie sensiblement selon la position de la molette BRIGHT (Réglage de la luminosité) et la température de la LED blanche. Veillez à toujours régler manuellement la balance des blancs du caméscope avant l'enregistrement.
- Lorsque vous rangez la torche vidéo, rangez tout d'abord la lentille condenseur, le diffuseur, puis la plaque de protection.

Vérification de la capacité restante de la batterie

Vous pouvez vérifier la capacité restante de la batterie même si l'interrupteur POWER (Alimentation) est réglé sur OFF.

1. **Fixez la batterie à la torche vidéo.**
2. **Réglez l'interrupteur POWER (Alimentation) sur OFF, puis appuyez sur le bouton de vérification.**
3. **Le témoin de la batterie restante s'allume progressivement, ce qui signifie que la capacité restante de la batterie est vérifiée et calculée.**
4. **Après environ 8 secondes, la capacité restante de la batterie s'affiche.**
5. **Après environ 10 secondes, le témoin de la batterie restante s'éteint.**
Si vous appuyez sur le bouton de vérification de la batterie, le calcul et la fonction d'affichage seront interrompus.
Si vous allumez l'interrupteur POWER alors que la capacité restante de la batterie est en cours de calcul ou d'affichage, l'appareil se met sous tension.
(La capacité restante de la batterie est recalculée.)

Témoins

Témoin de batterie restante

Ce témoin affiche la capacité restante de la batterie. La capacité restante de la batterie sera affichée pendant environ 8 secondes une fois l'interrupteur POWER (Alimentation) réglé sur ON ou après avoir appuyé sur le bouton de vérification de la batterie.

(4 segments allumés) Environ 75% ou plus
(3 segments allumés) Entre 50% et 75%
(2 segments allumés) Entre 25% et 50%
(1 segment allumé) Entre 5% et 25%
(1 segment clignotant) Environ 5% ou moins

- **Lorsque la capacité de la batterie est faible (lorsque le segment clignote)**
Environ 5 minutes avant que la batterie soit épuisée, le témoin de la batterie restante passe au vert et commence à clignoter lentement (1 segment).
La durée avant l'épuisement de la batterie varie selon la fréquence d'utilisation de la batterie ou selon la température ambiante. Ce témoin donne une capacité restante approximative ; nous vous recommandons de remplacer la batterie le plus rapidement possible dès que ce témoin s'allume.
- **Une fois la batterie épuisée**
Lorsque la batterie est épuisée, la torche vidéo s'éteint et le témoin de batterie restante passe au vert, puis clignote rapidement pendant environ 10 secondes (1 segment). Réglez l'interrupteur POWER (Alimentation) sur OFF, puis rechargez la batterie ou remplacez-la par une batterie chargée.
- **Erreur de communication**
(4 segments clignotent) Pendant environ 10 secondes une fois la vérification de la batterie restante terminée

Si une erreur se produit lors de la communication avec la batterie, ou si vous insérez une batterie autre que la batterie Sony « InfoLITHIUM » de série L, 4 segments clignotent pendant environ 10 secondes pour signaler une erreur de communication, puis l'écran de la batterie restante disparaît.

Remarques
- Si vous utilisez une batterie autre que la batterie Sony « InfoLITHIUM » se série L (gammes NP-F900 et NP-F700) avec la torche vidéo, la capacité restante de la batterie ne sera pas affichée.
- Si vous utilisez une batterie pratiquement épuisée, il est possible que l'écran de la batterie restante de corresponde pas à la capacité restante réelle de la batterie.
- Si vous utilisez une batterie « InfoLITHIUM » fixée à l'adaptateur secteur/chargeur compatible « InfoLITHIUM », la durée de fonctionnement disponible ne sera pas affichée. Pour afficher la durée de fonctionnement, fixez la batterie au caméscope, puis utilisez-la pendant environ 20 secondes avant de la fixer à nouveau à l'adaptateur secteur/chargeur.
- La batterie ne peut pas être rechargée avec la torche vidéo.

Témoin TEMP (Température)

Lorsque la LED blanche surchauffe, la torche vidéo se met automatiquement hors tension pour des raisons de sécurité ; le témoin de température passe au rouge et clignote rapidement pendant environ 60 secondes. Si la température ambiante est élevée, n'utilisez la torche vidéo que lorsque la température redescend.
Si le témoin TEMP (Température) continue de clignoter, cessez d'utiliser la torche vidéo et consultez votre revendeur ou votre technicien Sony.

Retrait de la torche vidéo

1. **Réglez l'interrupteur POWER (Alimentation) sur OFF.**
2. **Faites glisser le bouton de déverrouillage de la batterie tout en tirant celle-ci vers le haut.**
3. **Placez la molette de fixation de la torche vidéo sur la position RELEASE (Déverrouillage).**
Si la torche vidéo est fixée à une vis convexe, dévissez la vis convexe.
4. **Retirez la torche vidéo de la griffe porte-accessoires du caméscope, du trépied, etc.**

Nettoyage

Nettoyez la torche vidéo à l'aide d'un chiffon doux et sec. Si vous utilisez un chiffon légèrement imbibé d'une solution détergente neutre, essuyez la torche vidéo après nettoyage avec un chiffon sec. N'utilisez pas de chiffon humide ou de solvant (alcool ou benzène, entre autres), car vous risqueriez d'endommager la carcasse.

Spécifications

Alimentation Batterie	Sony « InfoLITHIUM » de série L (gammes NP-F900 et NP-F700) CC 7,2 V
Consommation	environ 16 W
Luminosité maximale	environ 600 lux (1 m (3 1/5 pieds)) (lors de l'utilisation avec une lentille condenseur)
Sens d'éclairage	Angle d'éclairage Vertical environ 45 degrés; Horizontal environ 60 degrés (lors de la l'utilisation avec une lentille condenseur)
Durée d'éclairage continu	environ 3 heures (lorsque vous utilisez une batterie NP-F970 complètement chargée et lorsque la molette BRIGHT (Réglage de la luminosité) est réglée sur MAX (Maximum) à une température ambiante de 25 °C (70 °F)) environ 2 heures (lorsque vous utilisez une batterie NP-F770 complètement chargée et lorsque la molette BRIGHT (Réglage de la luminosité) est réglée sur MAX (Maximum) à une température ambiante de 25 °C (70 °F))
Distance d'éclairage (Lors de la l'utilisation de la lentille condenseur)	environ 1 m (3 1/5 pieds) 600 lux environ 3 m (9 4/5 pieds) 66 lux environ 5 m (16 1/2 pieds) 24 lux environ 8 m (26 1/3 pieds) 9 lux environ 10 m (32 4/5 pieds) 6 lux
Température de couleur	environ 5 500 K (réglage par défaut avec la molette BRIGHT (réglage de la luminosité) réglée sur MAX et une température ambiante de 25 °C (70 °F))
Température de fonctionnement	Entre 0º C et 40º C (35º F à 104º F)
Température de stockage	Entre -20 °C et +60 °C (-4 °F à -140 °F)
Dimensions	environ 108 × 150 × 129 mm (l/h/p) (4 3/8 × 6 × 5 1/8 po.)
Poids (torche vidéo uniquement)	environ 420 g (14,9 oz.)
Articles inclus	Lampe vidéo à batterie (1), Câble de l'adaptateur de la batterie (câble environ 1,2 m (3 4/5 pieds)) (1), Jeu de documents imprimés

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans préavis.

« InfoLITHIUM » est une marque commerciale de Sony Corporation.

Español

Antes de utilizar la unidad, lea detenidamente este manual, y consérvelo para futuras referencias.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de incendio o descarga eléctrica, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.
Para evitar descargas eléctricas, no abra la caja.
En caso de avería, solicite los servicios de personal cualificado.
No mire al sol a través de la lente condensadora. Podría dañarse los ojos e incluso provocar ceguera.

Nombre del producto: Lámpara de vídeo con batería
Modelo: HVL-LBP

POR FAVOR LEA DETALLADAMENTE ESTE MANUAL DE INSTRUCCIONES ANTES DE CONECTAR Y OPERAR ESTE EQUIPO.

RECUERDE QUE UN MAL USO DE SU APARATO PODRÍA ANULAR LA GARANTÍA.

Tratamiento de los equipos eléctricos y electrónicos al final de su vida útil (aplicable en la Unión Europea y en países europeos con sistemas de recogida selectiva de residuos)
Este símbolo en el equipo o el embalaje indica que el presente producto no puede ser tratado como residuos domésticos normales, sino que debe entregarse en el correspondiente punto de recogida de equipos eléctricos y electrónicos. Al asegurarse de que este producto se desecha correctamente, Ud. ayuda a prevenir las consecuencias negativas para el medio ambiente y la salud humana que podrían derivarse de la incorrecta manipulación en el momento de deshacerse de este producto. El reciclaje de materiales ayuda a conservar los recursos naturales. Para recibir información detallada sobre el reciclaje de este producto, póngase en contacto con el ayuntamiento, el punto de recogida más cercano o el establecimiento donde ha adquirido el producto.

Para los clientes en Europa

Este producto con la marca CE cumple con la Directiva EMC (89/336/CEE) emitida por la Comisión de la Comunidad Europea.
El cumplimiento de esta directiva implica la conformidad con los siguientes estándares europeos:
- EN55103-1: Interferencia electromagnética (Emisión)
- EN55103-2: Susceptibilidad electromagnética (Inmunidad)

Este producto está diseñado para su utilización en los siguientes entornos electromagnéticos: E1 (uso residencial), E2 (uso comercial e industrial ligero), E3 (exteriores urbanos) y E4 (entornos controlados por la EMC como, por ejemplo, un estudio de TV).

Características

- HVL-LBP es una luz para vídeo que utiliza un LED blanco de alta luminosidad como fuente de luz para el objetivo.
- El LED blanco tiene una vida útil prolongada de aproximadamente 10.000 h (hora), además de una extraordinaria resistencia a impactos y a climatología adversa. Por ello, apenas requiere mantenimiento alguno. Está diseñada para durar y no es necesario reemplazarla.
- Si se utiliza el cable adaptador de la batería con la luz para vídeo incorporada en la videocámara, el peso se reduce y es más cómoda de llevar.

Precauciones

- La luz para vídeo no tiene especificaciones a prueba de polvo, salpicaduras o agua.
- La luz para vídeo es un instrumento de precisión. No someta la luz para vídeo a fuertes impactos como caídas o sacudidas.
- Utilice el paquete de baterías "InfoLITHIUM" NP-F970/F960/F770/F750/F730. Se recomienda utilizar el paquete NP-F970/F770.
- No se puede utilizar el paquete de baterías "InfoLITHIUM" NP-F570/F550/F530/F330.
- No incorpore la luz para vídeo a una videocámara equipada con una base de accesorio inteligente. La base de accesorio podría dañarse.
- Utilice la luz para vídeo únicamente en rangos de temperatura ambiente que oscilen entre 0 °C y 40 °C
- No obstruya las salidas de ventilación. De lo contrario, la temperatura interna podría aumentar y provocar un incendio, un accidente o hacer que la unidad no funcione correctamente.
- No mire directamente al LED blanco si está encendido. Podría provocar daños oculares.
- Para evitar que se caiga la videocámara, no la coja por la luz para vídeo cuando ésta esté incorporada.
- No coloque la luz para vídeo cerca de disolventes combustibles o volátiles, como el alcohol o el benceno. Si lo hace, podrían producirse emisiones de humo o provocar un incendio.
- No permita que entre ningún tipo de líquido en la luz para vídeo ni coloque objetos combustibles o metálicos sobre ella. De lo contrario, podría provocar un incendio o hacer que la unidad no funcione.
- Durante su utilización o almacenamiento, no coloque la luz para vídeo en los lugares siguientes. De lo contrario, podría deformar la luz para vídeo o hacer que no funcione:
  – Lugares sometidos a temperaturas anormalmente elevadas, como el interior de un vehículo con las ventanillas cerradas.
  – Lugares expuestos a la luz solar directa o cerca de aparatos de calefacción.
  – Lugares sometidos a vibraciones intensas.
- La vida útil del paquete de baterías se reduce si se utiliza en temperaturas ambiente bajas o elevadas, por lo que el tiempo de iluminación también se reduce. La capacidad de las baterías se deteriora. Si utiliza los paquetes de baterías a una temperatura de 10 °C o inferior, se recomienda seguir los pasos indicados a continuación para aumentar la vida útil de la batería:
  – Para calentar el paquete de baterías, introdúzcalo en el bolsillo. (No coloque el paquete de baterías con dispositivos de calentamiento de bolsillo.) Justo antes de iniciar la grabación, inserte el paquete de baterías en la luz para vídeo.
  – Cargue el paquete de baterías a temperatura ambiente (de 10 °C a 30 °C)
- Cuando haya terminado de utilizar la luz para vídeo, es importante que el interruptor POWER (ENCENDIDO) de la luz para vídeo esté en la posición OFF (APAGADO).
- Si no está utilizando la luz para vídeo o si ha terminado de utilizarla, extraiga el paquete de baterías.
- No guarde la luz para vídeo inmediatamente después de haberla utilizado. El LED blanco podría averiarse por el calor generado. Compruebe que el indicador de la luz para vídeo está apagado y que la luz para vídeo se ha enfriado suficientemente antes de guardarla en el estuche, etc.
- Si deja la lente condensadora expuesta a la luz solar directa mientras está cerrada, podría averiarla. Si deja la lente condensadora expuesta a la luz solar directa mientras está abierta, podría provocar fuego en las proximidades del punto focal de la lente.
- Si realiza grabaciones con la luz para vídeo incorporada al cuerpo de la videocámara, el sonido grabado puede verse ligeramente afectado.

A Identificación de las partes

Luz para vídeo HVL-LBP
1 Difusor
2 Placa de protección
3 Lente condensadora
4 Salidas de ventilación
5 Indicador TEMP (TEMPERATURA)
6 Indicador de batería restante
7 Interruptor POWER (ENCENDIDO)
8 Dial BRIGHT (LUMINOSIDAD)
9 Tornillo de ajuste de ángulo de iluminación (Tornillo plano)
10 Perno de fijación de luz
11 Botón de comprobación de batería
12 Botón de liberación de batería
13 Soporte de batería

Cable adaptador para batería
14 Botón de liberación de batería
15 Orificio para tornillo de trípode
16 Cinta de sujeción
17 Fijación lateral de luz para vídeo
18 Soporte de batería

Utilización de la luz para vídeo

Colocación del paquete de baterías

Colocación del paquete de baterías en la luz para vídeo (figura B)

Compruebe que el interruptor POWER (ENCENDIDO) está en la posición OFF (APAGADO) y coloque el paquete de baterías totalmente cargadas en el soporte de baterías de la luz para vídeo.

Utilización del cable adaptador de la batería (figura C)

El cable adaptador de la batería permite utilizar la luz para vídeo con el paquete de baterías extraído.

1. **Conecte el cable adaptador de la batería (figura C-1) en el soporte de batería de la luz para vídeo.**
2. **Coloque el paquete de baterías en el soporte de batería del adaptador (figura C-2).**

Notas
- El cable adaptador de la batería sólo se puede utilizar con esta luz para vídeo.
- Si utiliza la luz para vídeo con el paquete de baterías conectado al cable adaptador de la batería, el tiempo de iluminación continuo será aproximadamente un 10 % más corto que si coloca el paquete de baterías directamente en la luz para vídeo.
- Si la pieza de soporte de batería del cable adaptador de la batería está fijada con una cinta de sujeción, etc., tenga cuidado cuando mueva la unidad para no tirar del cable y volcar la videocámara o el trípode.

Colocación de la luz para vídeo en la videocámara (figura D)

Colocación de la luz para vídeo en la base de accesorio

1. **Gire el perno de fijación de la luz de la luz para vídeo hacia la posición RELEASE (LIBERACIÓN) para extraer el tornillo.**
2. **Coloque la luz para vídeo en la base de accesorio de la videocámara.**
3. **Gire el perno de fijación de la luz de la luz para vídeo hacia la posición LOCK (BLOQUEO) para fijar la luz para vídeo.**
(No incorpore la luz para vídeo a una videocámara equipada con una base de accesorio inteligente. La base de accesorio podría dañarse.)

Colocación de la luz para vídeo en el tornillo cóncavo

1. **Gire el perno de fijación de la luz de la luz para vídeo hacia la posición LOCK (BLOQUEO) para extraer el tornillo.**
2. **Alinee la parte del tornillo de la luz para vídeo con el tornillo cóncavo.**
3. **Gire el perno de fijación de la luz de la luz para vídeo hacia la posición LOCK (BLOQUEO) para fijar la luz para vídeo.**

Colocación de la luz para vídeo en el tornillo convexo del trípode o asidero

1. **Gire el perno de fijación de la luz de la luz para vídeo hacia la posición RELEASE (LIBERACIÓN) tanto como sea posible para extraer el tornillo.**
2. **Inserte la luz para vídeo en el tornillo convexo y atornille la luz para vídeo.**

Ajuste del ángulo de la luz para vídeo (figura E)

1. **Afloje el tornillo de ajuste del ángulo de iluminación con ayuda de una moneda y ajuste el ángulo de la luz para vídeo.**
2. **Apriete el tornillo de ajuste del ángulo de iluminación con ayuda de una moneda y bloquéelo con fuerza para fijar el ángulo de la luz para vídeo.**

Nota
Cuando ajuste el ángulo, sujete el cuerpo de la luz para vídeo con firmeza mientras afloja el tornillo de ajuste del ángulo de iluminación.

Apertura de la placa de protección, la lente condensadora y el difusor

Nota
Abra la placa de protección, la lente condensadora y el difusor aproximadamente 45 grados, tal como se indica en la figura A. El ángulo de 45 grados o más basta para evitar daños. Tenga en cuenta que fuerza el giro al abrir hasta 45 grados, podría averiar la unidad.

Encendido de la luz para vídeo

1. **Deslice el interruptor POWER (ENCENDIDO) hasta la posición ON (ENCENDIDO) mientras mantiene presionado el botón verde.**
2. **El indicador de batería restante se ilumina en varias fases a medida que se comprueba y se calcula la capacidad restante de las baterías.**
3. **El LED blanco se ilumina unos 1,5 s (segundo) después de haber encendido el interruptor POWER (ENCENDIDO).**
4. **La capacidad restante de las baterías se muestra unos 8 s (segundo) después de haber encendido el interruptor POWER (ENCENDIDO).**

Ajuste de la luminancia

La luminancia de la luz para vídeo se puede ajustar entre 100% (máx.) y aproximadamente 10% (mín.) con ayuda del dial BRIGHT (LUMINOSIDAD).

Utilización de la lente condensadora

La luminancia se puede duplicar gracias a la lente condensadora.
El ángulo de iluminación se estrechará.

Utilización del difusor

El difusor reduce los brillos y suaviza la luz.

Notas
- Cuando se realizan grabaciones con la luz para vídeo, si el sujeto está demasiado cerca de la videocámara, es posible que aparezcan sombras superpuestas con el sujeto (multisombras).
- La temperatura de color varía sensiblemente en función de la posición del dial BRIGHT (LUMINOSIDAD) y la temperatura del LED blanco. Ajuste siempre el equilibrio de blancos de la videocámara manualmente antes de iniciar la grabación.
- Cuando guarde la luz para vídeo, almacene primero la lente condensadora. Después, el difusor y, por último, la placa de protección.

Comprobación de la capacidad restante de las baterías

Es posible comprobar la capacidad restante de las baterías incluso con el interruptor POWER (ENCENDIDO) en la posición OFF (APAGADO).

1. **Coloque el paquete de baterías en la luz para vídeo.**
2. **Con el interruptor POWER (ENCENDIDO) en la posición OFF (APAGADO), presione el botón de comprobación de baterías.**
3. **El indicador de batería restante se ilumina en varias fases a medida que se comprueba y se calcula la capacidad restante de las baterías.**
4. **Transcurridos unos 8 s (segundo), aparecerá la capacidad restante de las baterías.**
5. **Transcurridos unos 10 s (segundo), el indicador de batería restante se apaga.**
Si pulsa el botón de comprobación de baterías, se detiene la función de cálculo o de visualización.
Si enciende el interruptor POWER (ENCENDIDO) mientras aún se está calculando o mostrando la capacidad restante de las baterías, se iniciará el funcionamiento de la cámara. (Se volverá a comprobar la capacidad de las baterías.)

Indicadores luminosos

Indicador de batería restante

Este indicador muestra la energía restante aproximada de las baterías. La energía restante de las baterías se muestra durante aproximadamente 8 s (segundo), una vez ajustado el interruptor POWER (ENCENDIDO) en la posición ON (ENCENDIDO) o tras presionar el botón de comprobación de baterías.

(4 segmentos iluminados) Aproximadamente 75% o más
(3 segmentos iluminados) Aproximadamente 50% - 75%
(2 segmentos iluminados) Aproximadamente 25% - 50%
(1 segmento iluminado) Aproximadamente 5% - 25%
(1 segmento parpadeando) Aproximadamente 5% o menos

- **Cuando la capacidad de las baterías es baja (parpadea)**
Unos 5 m (minuto) antes de que se agoten las baterías, el indicador de batería restante se ilumina en verde y comienza a parpadear lentamente (1 segmento).
El tiempo que transcurre hasta que se agotan las baterías depende de la frecuencia de uso de las mismas y de la temperatura ambiente. Este indicador sólo debe utilizarse como orientación aproximada y se recomienda cambiar las baterías con relativa celeridad.
- **Cuando se agota el paquete de baterías**
Si se agota el paquete de baterías, la luz para vídeo se apaga y el indicador de batería restante se ilumina en verde y parpadea rápidamente durante unos 10 s (segundo) (1 segmento).
Ajuste el interruptor POWER (ENCENDIDO) en la posición OFF (APAGADO) y cargue el paquete de baterías o cámbielo por otro totalmente cargado.
- **Error de comunicación**
(4 segmentos parpadeando) Aproximadamente 10 s (segundo) después de haber finalizado la comprobación de batería restante

Si se produjese un error por algún motivo durante la comunicación con el paquete de baterías o si se insertan baterías que no sean Sony "InfoLITHIUM" de la serie L, parpadean 4 segmentos durante 10 s (segundo) para indicar el error de comunicación y, seguidamente, desparece la visualización de batería restante.

Notas
- Si se utilizan baterías que no sean Sony "InfoLITHIUM" de la serie L (gamas NP-F900, NP-F700) con la luz para vídeo, no se mostrará la capacidad restante de las baterías.
- Si se utiliza un paquete de baterías con poca vida útil restante, es posible que la visualización de de batería restante no coincida con la capacidad real restante de las baterías.
- Si utiliza un paquete de baterías "InfoLITHIUM" colocado en el cargador/adaptador de ca compatible con "InfoLITHIUM", el tiempo de funcionamiento disponible no se mostrará. Para mostrar el tiempo de funcionamiento, coloque el paquete de baterías en la videocámara y utilícela durante unos 20 s (segundo) antes de colocar de nuevo el paquete de baterías en el cargador/adaptador de ca.
- El paquete de baterías no se puede cargar con la luz para vídeo.

Indicador TEMP (TEMPERATURA)

Si el LED blanco sufre sobrecalentamiento por algún motivo, la luz para vídeo se apagará por motivos de seguridad y el indicador TEMP (TEMPERATURA) se iluminará en rojo y comenzará a parpadear rápidamente durante unos 60 s (segundo). Si la temperatura ambiente es elevada, utilice la luz para vídeo a una temperatura inferior.
Si el indicador TEMP sigue parpadeando, deje de utilizar la luz para vídeo y póngase en contacto con su distribuidor de Sony o acuda a un centro de servicio técnico oficial de Sony.

Extracción de la luz para vídeo

1. **Ajuste el interruptor POWER (ENCENDIDO) en la posición OFF (APAGADO).**
2. **Deslice el botón de liberación de la batería y, al mismo tiempo, tire del paquete de baterías hacia arriba.**
3. **Gire el perno de fijación de la luz de la luz para vídeo hacia la posición RELEASE (LIBERACIÓN).**
Si la luz para vídeo está fijada a un tornillo convexo, aflójelo.
4. **Extraiga la luz para vídeo de la base de accesorio de la videocámara, trípode, etc.**

Limpieza

Limpie la luz para vídeo con un paño suave y seco. Si la limpia con un paño suave ligeramente humedecido en una solución detergente suave, pásele un paño suave y seco tras haberlo limpiado. No utilice un paño mojado ni ningún tipo de disolvente como alcohol o benceno: podría deteriorar el acabado exterior.

Especificaciones

Fuente de alimentación Paquete de baterías	Sony "InfoLITHIUM" de la serie L (Gamas NP-F900, NP-F700) cc 7,2 V
Consumo de energía	Aprox. 16 W
Luminosidad máxima	Aprox. 600 lux (1 m) (si se utiliza con una lente condensadora)
Dirección de iluminación	Ángulo de iluminación Vertical - Aprox. 45 grados; Horizontal - Aprox. 60 grados (si se utiliza una lente condensadora)
Tiempo de iluminación continuo	Aprox. 3 h (hora) (si se utiliza un paquete de baterías NP-F970 totalmente cargado y si el dial BRIGHT (LUMINOSIDAD) está ajustado en la posición MAX (MÁX.) a una temperatura ambiente de 25 °C) Aprox. 2 horas (si se utiliza un paquete de baterías NP-F770 totalmente cargado y si el dial BRIGHT (LUMINOSIDAD) está ajustado en la posición MAX (MÁX.) a una temperatura ambiente de 25 °C)
Distancia de iluminación (Si se utiliza la lente condensadora)	Aprox. 1 m 600 lux Aprox. 3 m 66 lux Aprox. 5 m 24 lux Aprox. 8 m 9 lux Aprox. 10 m 6 lux
Temperatura de color	Aprox. 5.500 K (ajuste predeterminado con el dial BRIGHT (LUMINOSIDAD) en la posición MAX y una temperatura ambiente de 25 °C)
Temperatura de funcionamiento	De 0 °C a 40 °C
Temperatura de almacenamiento	De -20 °C a +60 °C
Dimensiones	Aprox. 108 × 150 × 129 mm (an/al/prf)
Peso (sólo luz para vídeo)	Aprox. 420 g
Elementos incluidos	Lámpara de vídeo con batería (1), Cable adaptador de batería (pieza del cable - aprox. 1,2 m) (1), Juego de documentación impresa

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambio sin previo aviso.

"InfoLITHIUM" es una marca comercial de Sony Corporation.

中文（简）

在操作本装置之前，请通读本说明书，并妥善保管以备将来参考。

警告

为减少发生火灾或触电的危险，请勿让本装置淋雨或受潮。
为防止触电，不要打开外壳。
只能请有资格的人员进行维修。
请勿透过聚光镜头观看太阳，否则可能会损伤您的视力，甚至还会导致失明。

特点

- HVL-LBP 视频灯采用高亮白光 LED 作为镜头光源。
- 白光LED具有寿命长（约10,000小时）、出色的抗压及全天候特点，能够承受任何苛刻的保养。终身设计，无需更换。
- 使用电池适配线将视频灯安装到摄像机时，能够减轻摄像机重量并保持更佳的照明。

注意事项

- 视频灯并未采用防尘、防溅或防水设计。
- 视频灯属于精密设备。请勿用力撞击视频灯，如跌落或碰撞视频灯。
- 请使用NP-F970/F960/F770/F750/F730 "InfoLITHIUM" 电池。推荐使用NP-F970/F770。
- 无法使用 NP-F570/F550/F530/F330 "InfoLITHIUM" 电池。
- 请勿将视频灯安装到配备智能附件靴的摄像机，否则可能会导致附件靴损坏。
- 仅限在 0～40℃的环境温度范围内使用视频灯。
- 请勿堵塞通风口，否则内部温度将会升高，从而可能会导致起火或意外事故，或者导致装置故障。
- 请勿直视点亮的白光 LED，否则可能会损伤您的视力。
- 为避免摄像机跌落，请勿通过抓取安装着的视频灯来携带摄像机。
- 请勿将视频灯放置在酒精、汽油等易燃或挥发性溶剂附近，否则可能会导致起火或冒烟。
- 请勿让任何液体渗入视频灯，或者将易燃或金属物体掉落到视频灯上，否则使用时可能会导致起火或装置故障。
- 使用或存放期间，请勿将视频灯放置在下列场所，否则可能会导致视频灯故障或变形：
  – 炎热的天气或过热的场所，如车窗紧闭的车内
  – 直射阳光或加热设备附近
  – 易受强烈震动的场所
- 环境温度较低或较高时，电池使用时间可能缩短，照明时间也会相应减少。电池电量下降。在10℃或更低的温度下使用电池时，推荐采用下列步骤延长电池使用时间：
  – 将电池放入口袋保温。（请勿将电池与袖珍热垫一起放置。）在即将拍摄之前，将电池插入视频灯。
  – 在室温（10～30℃）下对电池充电。
- 视频灯使用完毕时，请务必将视频灯上的 POWER 开关设为 OFF。
- 不使用视频灯或视频灯使用完毕时，请取出电池。
- 请勿在使用视频灯后立即进行存放，否则白光LED 可能因产生的热量而损坏。将视频灯存放到便携包等之前，请检查视频灯电源是否设为 OFF 且视频灯是否已经充分冷却。
- 在关闭的状态下，将聚光镜头置于直射阳光下可能会导致故障。在开启的状态下，将聚光镜头置于直射阳光下可能会导致镜头焦点附近起火。
- 将视频灯安装到摄像机机身进行拍摄时，可能稍稍影响记录的声音。

A 识别部件

HVL-LBP 视频灯
1 散光片
2 防护板
3 聚光镜头
4 通风口
5 TEMP 指示灯
6 电池剩余电量指示灯
7 POWER 开关
8 BRIGHT 拨盘
9 照明角度调整螺丝（压花螺丝）
10 灯座安装旋钮
11 电池检查按钮
12 电池释放按钮
13 电池座

电池适配线
14 电池释放按钮
15 三脚架螺丝孔
16 捆绑带
17 视频灯侧装置
18 电池座

使用视频灯

安装电池

将电池安装到视频灯（图 B）

检查 POWER 开关是否设为 OFF，然后将完全充电的电池安装到视频灯的电池座上。

使用电池适配线（图 C）

电池适配线允许您在电池分离的情况下使用视频灯。

1. **将电池适配线（图 C-1）安装到视频灯的电池座上。**
2. **将电池安装到适配器（图 C-2）的电池座上。**

注意
- 电池适配线仅限搭配本视频灯使用。
- 相对于将电池直接安装到视频灯而言，将电池安装到电池适配线的情况下使用视频灯时，持续照明时间将会缩短约 10%。
- 如果电池适配线的电池座部位采用捆绑带等固定，则移动装置时，请注意不要拉动适配线并撞翻摄像机或三脚架。

将视频灯安装到摄像机（图 D）

将视频灯安装到附件靴

1. **将视频灯上的灯座安装旋钮转到 RELEASE 位置，收回螺丝。**
2. **将视频灯安装到摄像机的附件靴上。**
3. **将视频灯上的灯座安装旋钮转到 LOCK 位置，固定视频灯。**
（请勿将视频灯安装到配备智能附件靴的摄像机，否则可能会导致附件靴损坏。）

将视频灯安装到凸状螺丝

1. **将视频灯上的灯座安装旋钮转到 LOCK 位置，拉出螺丝。**
2. **对齐视频灯的螺丝部分和凸状螺丝。**
3. **将视频灯上的灯座安装旋钮转到 LOCK 位置，固定视频灯。**

将视频灯安装到三脚架或手柄的凸状螺丝

1. **将视频灯上的灯座安装旋钮尽量转到 RELEASE 位置，收回螺丝。**
2. **将视频灯插入凸状螺丝，然后旋紧视频灯。**

调整视频灯的角度（图 E）

1. **用硬币旋松照明角度调整螺丝，并调整视频灯的角度。**
2. **用硬币旋紧照明角度调整螺丝，并牢牢地锁定，以固定视频灯角度。**

注意
调整角度时，请在旋松照明角度调整螺丝的同时牢牢地握持视频灯机身。

打开防护板、聚光镜头和散光片

注意
如图 A 所示，将防护板、聚光镜头和散光片约呈 45 度打开。45 度或以上的角度提供的缓冲范围能够避免损坏。请注意，用力打开到 45 度可能会导致损坏。

打开视频灯

1. **按住绿色按钮的同时将 POWER 开关滑到 ON。**
2. **随着检查和计算电池剩余电量，电池剩余电量指示灯同步点亮。**
3. **打开 POWER 开关后，白光 LED 点亮约 1.5 秒。**
4. **打开 POWER 开关后，电池剩余电量显示约 8 秒钟。**

调整亮度

使用 BRIGHT 拨盘可以在 100%（最高）到约 10%（最低）的范围内调整视频灯的亮度。

使用聚光镜头

使用聚光镜头可以获得双倍的亮度。
照明角度将会变窄。

使用散光片

散光片可以减少刺眼的光线并使光线柔和。

注意
- 使用视频灯进行拍摄时，如果被摄主体过度靠近摄像机，则被摄主体的多个阴影可能重叠（多重阴影）。
- 根据 BRIGHT 拨盘位置和白光 LED 温度的不同，色温可能略有不同。拍摄之前，请务必手动调整摄像机的白平衡。
- 存放视频灯时，请按照聚光镜头、散光片和防护板的顺序进行存放。

检查电池剩余电量

即使在 POWER 开关设为 OFF 的情况下也可以检查电池剩余电量。

1. **将电池安装到视频灯。**
2. **保持 POWER 开关设为 OFF，按下电池检查按钮。**
3. **随着检查并计算电池剩余电量，电池剩余电量指示灯同步点亮。**
4. **约 8 秒钟过后，将会显示电池剩余电量。**
5. **约 10 秒钟之后，电池剩余电量指示灯将会熄灭。**
如果按下电池检查按钮，则计算或显示功能将会停止。
正在计算或显示电池剩余电量时，如果打开POWER开关，则POWER ON操作随即开始。（电池剩余电量会被重新检查。）

指示灯指示

电池剩余电量指示灯

本指示给出电池剩余电量的近似值。将 POWER 开关设为 ON 或按下电池检查按钮后 8 秒钟，将会显示电池剩余电量。

（4 段点亮） 约 75% 或更多
（3 段点亮） 约 50～75%
（2 段点亮） 约 25～50%
（1 段点亮） 约 5～25%
（1 段闪烁） 约 5% 或更少

- **电池电量较低时（闪烁时）**
电池耗尽之前约 5 分钟时，电池剩余电量指示灯变为绿色并开始缓慢闪烁（1 段）。
根据电池使用频率和环境温度的不同，电池耗尽之前的时间各不相同。本指示仅作大致参考，推荐尽快更换电池。
- **电池耗尽时**
电池耗尽时，视频灯熄灭，电池剩余电量指示灯变为绿色并快速闪烁约10秒钟（1段）。将POWER开关设为 OFF，然后对电池充电或使用完全充电的电池进行更换。
- **通信错误**
电池剩余电量检查完毕后（4 段闪烁）约 10 秒钟

如果与电池通信期间因某些原因而发生错误，或者插入了 Sony "InfoLITHIUM" 电池 L 系列以外的电池，则 4 段闪烁约 10 秒钟以表示通信错误，电池剩余电量显示随后消失。

注意
- 视频灯使用 Sony "InfoLITHIUM" 电池 L 系列（NP-F900 系列，NP-F700 系列）以外的电池时，将不会显示电池剩余电量。
- 使用剩余使用时间较短的电池时，电池剩余电量显示可能与实际电池剩余电量不符。
- 使用安装到 "InfoLITHIUM" 兼容 AC 适配器／充电器的 "InfoLITHIUM" 电池时，将不会显示可用的操作时间。如需显示操作时间，请将电池安装到摄像机并使用约 20 秒钟，然后将电池重新安装到 AC 适配器／充电器。
- 无法使用视频灯对电池充电。

TEMP 指示灯

出于安全目的，白光 LED 因某些原因而过热时，视频灯将会熄灭，TEMP 指示灯变为红色并快速闪烁约 60 秒钟。如果环境温度较高，则请在低温下使用视频灯。
如果 TEMP 指示灯持续闪烁，则请停止使用视频灯，并联系您的 Sony 经销商或当地授权的 Sony 维修中心。

拆卸视频灯

1. **将 POWER 开关设为 OFF。**
2. **滑动电池释放按钮并同时向上拉起电池。**
3. **将视频灯上的灯座安装旋钮转到 RELEASE 位置。**
如果视频灯安装到凸状螺丝，则请将其旋松。
4. **从摄像机附件靴、三脚架等取下视频灯。**

清洁

请使用柔软的干布清洁视频灯。如果使用略微蘸有中性洗涤剂溶液的软布进行清洁，则请在清洁后用柔软的干布进行擦拭。请勿使用湿布或酒精、汽油等任何类型的溶剂，否则可能会损坏涂层。

规格

电源	Sony "InfoLITHIUM" 电池 L 系列（NP-F900 系列，NP-F700 系列） DC 7.2 V
功耗	约 16 W
最大亮度	约 600 lux(1m)（搭配聚光镜头使用时）
照明方向	照明角度 垂直约 45 度；水平约 60 度（搭配聚光镜头使用时）
持续照明时间	约 3 小时（环境温度为 25℃，使用完全充电的 NP-F970 并将 BRIGHT 拨盘设为 MAX 时） 约 2 小时（环境温度为 25℃，使用完全充电的 NP-F770 并将 BRIGHT 拨盘设为 MAX 时）
照明距离（使用聚光镜头时）	约 1 m 600 lux 约 3 m 66 lux 约 5 m 24 lux 约 8 m 9 lux 约 10 m 6 lux
色温	约5,500 K（BRIGHT拨盘的默认设置为MAX且环境温度为25℃）
操作温度	0～40℃
存放温度	-20～+60℃
尺寸	约 108 × 150 × 129 mm（宽／高／深）
质量（仅限视频灯）	约 420 g
所含物品	电池摄像灯（1）、电池适配线（线长约1.2 m）（1）、成套印刷文件

设计或规格如有变动，恕不另行通知。

"InfoLITHIUM" 是 Sony Corporation 的商标。